



## 「あかし保育絵本土」 (応用コース) 養成講座

— ひびきあう保育のために —

第4期生  
募集

絵本をきっかけに、保育者・乳幼児・保護者など保育の場に集うすべての人が、ともにひびきあい、育ちあうよう、保育環境の充実を図るため、明石市オリジナルの資格制度として、「あかし保育絵本土」養成講座の応用コースを開講します。

絵本を仲立ちにして、乳幼児の豊かで伸びやかな育ちを支えるために、基礎コースで習得した保育者としての「絵本を選ぶ力」、「絵本を乳幼児に読む力・読みあう力」・「絵本の読みあいの様子を分析・省察し、記録する力」を実践で活用できるよう、さらなるスキルアップを目指します。修了者を「あかし保育絵本土」(マスター)として認定します。

### ■対象者

本講座の基礎コース認定者で、原則として、明石市内の幼稚園又は認可保育施設(保育所(園)、認定こども園、小規模事業所)に勤務する幼稚園教諭(園長も可)と保育士、保育教諭(施設長も可)

### ■定員

10名(申込みが10名を超えた場合は、選考となります。)

### ■申込期間

2024年7月17日(水)～7月31日(水) 必着

### ■養成講座の流れ



### ■受講料・認定料

無料

### ■申込み先(お問い合わせ)

- ・申込みは、電子申請(右下の二次元コード)から。
- ・電子申請が難しい場合は、郵送(庁内便可)、メール又はFAXでお送りください。

### 「あかし保育絵本土」とは？

絵本を通して一人ひとりの子どもと向きあい、それぞれの子どもの個性に合わせたきめ細やかな保育ができる保育者

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所分庁舎5階  
明石市政策局プロジェクト推進室 本のまち担当 「あかし保育絵本土」係  
Eメール: hon\_akashi@city.akashi.lg.jp  
TEL: 078-918-5209 / FAX: 078-918-5136



## ■ 受講（選考結果）のお知らせ

8月9日(金)までに連絡します。受講者には、事前課題等をお送りします。

## ■ 開催日、開催時間、開催場所（予定）

※ 変更の場合は受講者にお知らせします。

	開催日	開催時間(休憩含む)	開催場所
第1回	10/22(火)	15:00~18:00	生涯学習センター アスピア北館 ウィズあかし8階 803
第2回	11/19(火)	14:40~18:00	生涯学習センター アスピア北館 ウィズあかし8階 803
第3回	12/17(火)	15:00~17:40	生涯学習センター アスピア北館 ウィズあかし8階 803

※自然災害等の不測の事態が生じた場合は、講座日程の延期または中止することがあります。

## ■ 講師

氏名	所属	専門分野
佐々木 宏子	鳴門教育大学名誉教授	乳幼児教育・心理学
村中 李衣	児童文学作家	児童文学
徳永 満理	おさなご保育園理事長	保育学

## ■ 認定の基準

- 原則として、全講義の受講と課題(事前・事後)の提出が認定の前提条件です。  
(やむを得ず欠席する場合は、講義のDVDと資料をお渡しします。※欠席は1回限り)
- 講義及びワークショップでの成績、出席状況、レポート(課題)等を総合的に判断します。 ※詳しくは、事務局にお問い合わせください。



## ■ 絵本の読みあいの実践発表について

- 第2回講座「絵本を読みあうことで子どものことを知る」では、日常の絵本の実践“絵本の読みあい”について、**受講生による実践記録（文章による実践記録、写真記録、録画・動画記録など方法はお任せします）の発表を予定**しています。これは、読みあいの評価を行うのではなく、多様な角度から「子ども理解」を深めていくことを目的としています。  
※発表の詳細については、第1回の講座内で説明を行います。
- 講師と様々な経験を持った保育者(受講生)のまなざしを通して、現場での絵本の読みあいに関する課題について、公立や私立、幼稚園や保育所などの種別を越えて、“絵本の読みあい”について一緒に考え、話し合う場を設けるものです。
- 所属施設におかれましては、ご理解、ご協力のほど、よろしく願います。

# 2024年度 プログラム(応用コース)

科目	回数	開催日	時間(分)	講座内容	講師
絵本を選ぶ力	1	10/22 (火)	30	オリエンテーション (自己紹介等を含む)	佐々木 村 中 徳 永
			150	<b>保育実践の中で絵本を活かす</b> ■「絵本の時間は保育に何を生み出すのか」(協同討議) ー基礎コース修了後の実践において新しく発見した課題などを共有するためにー 既存の絵本リストに頼るのではなく、保育の中で子どもが大切にしたい絵本、子どもと保育者がお互いの気持ちを理解し合えた絵本などの実践記録を持ち寄り、新しい課題を議論する。基礎コース修了後の印象深い変化などの情報交換を行い、地域に根差した保育の実践に繋げていく。	
読む力・読みあう力	2	11/19 (火)	200	<b>絵本を読みあうことで子どものこころを知る</b> ■「“子どもと絵本とわたし”の今日の発見」(保育現場での実践) ー共有したい問題点を実践記録・写真・録画等により具体的に提示し講師・受講生同士で議論し深めるー 現場での読みあいの実践場面(受講生の実践発表)を取り上げ、意見交換する。保育者の「声」「リズム」「間」がその場でどんなものを生み出すのか、子どもたちと共にどんな響きあいを創り出していくのか、観察によって得た様々な印象や感想、分析視点などを情報共有し、読みあいを体験することで、保育の実践に繋げていく。	佐々木 村 中 徳 永
分析・省察し記録する力	3	12/17 (火)	130	<b>絵本を通じた実践で保育へのまなざしをみがく</b> ■「課題の再発見から明日の保育へ」(省察) ー保育者としての観点から絵本の可能性を探るー 日常の保育の中で、絵本がどのように乳幼児理解につながるのかを考えると同時に、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」に、どのように位置づけられるのかを明確にすることで、今後の保育実践に活かしていく。 絵本が、保育・家庭・地域の中で果たす役割を考える。絵本を通して、今、目の前にいる子どもやそれぞれの生活環境について理解を深めることで、一般論やマニュアル的ではない、地域に根ざした生きた保育の創造につなげる。	佐々木 村 中 徳 永
まとめ			30	■「まとめ」 ・基礎コース及び応用コースでの学びのまとめを行う。 ・講師と受講生と一緒に、子ども理解と実践について、自由な意見交換などを行う。	

- ・講座はいずれも、講義とワークショップです。
- ・各回、講座内容に関する「事前課題」及び「事後課題」(簡易なレポート)があります。
- ・コース修了後、認定者の所属施設には、施設奨励賞をお渡しする予定です。

※奨励賞の詳細は講座内で説明します。

2024年 月 日

次のとおり、申込みをいたします。(枠内全て記入してください)

「あかし保育絵本土」養成講座（応用コース）受講申込書										
①氏名（ふりがな）	（ふりがな）									
	（氏 名）									
②所 属（施設名）・住所・連絡先 ※住所や連絡先は、所属施設のものをご記入ください。	施 設 名									
	郵便番号（〒） 住 所									
	Eメール：									
	電話番号：									
	FAX 番号：									
③所属施設の種別 ※該当するものに○印をつけてください。	<table border="0"> <tr> <td>・公立</td> <td>・幼稚園</td> <td>・保育所（園）</td> </tr> <tr> <td>・私立</td> <td>・認定こども園</td> <td>・小規模保育事業所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・その他（</td> <td>）</td> </tr> </table>	・公立	・幼稚園	・保育所（園）	・私立	・認定こども園	・小規模保育事業所		・その他（	）
	・公立	・幼稚園	・保育所（園）							
・私立	・認定こども園	・小規模保育事業所								
	・その他（	）								
④現在の担当クラス ※フリーや施設長の場合は、その旨を記載してください。	（        ）歳児クラス ・（        ）名									
⑤保育者としての経験年数	（        ）年（        ）か月									
⑥基礎コース受講後について 基礎コースを受講後、絵本を通して、ご自身や子ども（クラス）が変わったと感じることや、日常の保育に活かそうと取り組んでいること（取り組んだこと）などをお書きください。										